



文部科学省補助事業  
令和4年度版 研究機関用

博士人材の採用を支援する

# 卓越研究員事業

Leading Initiative for Excellent Young Researchers



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



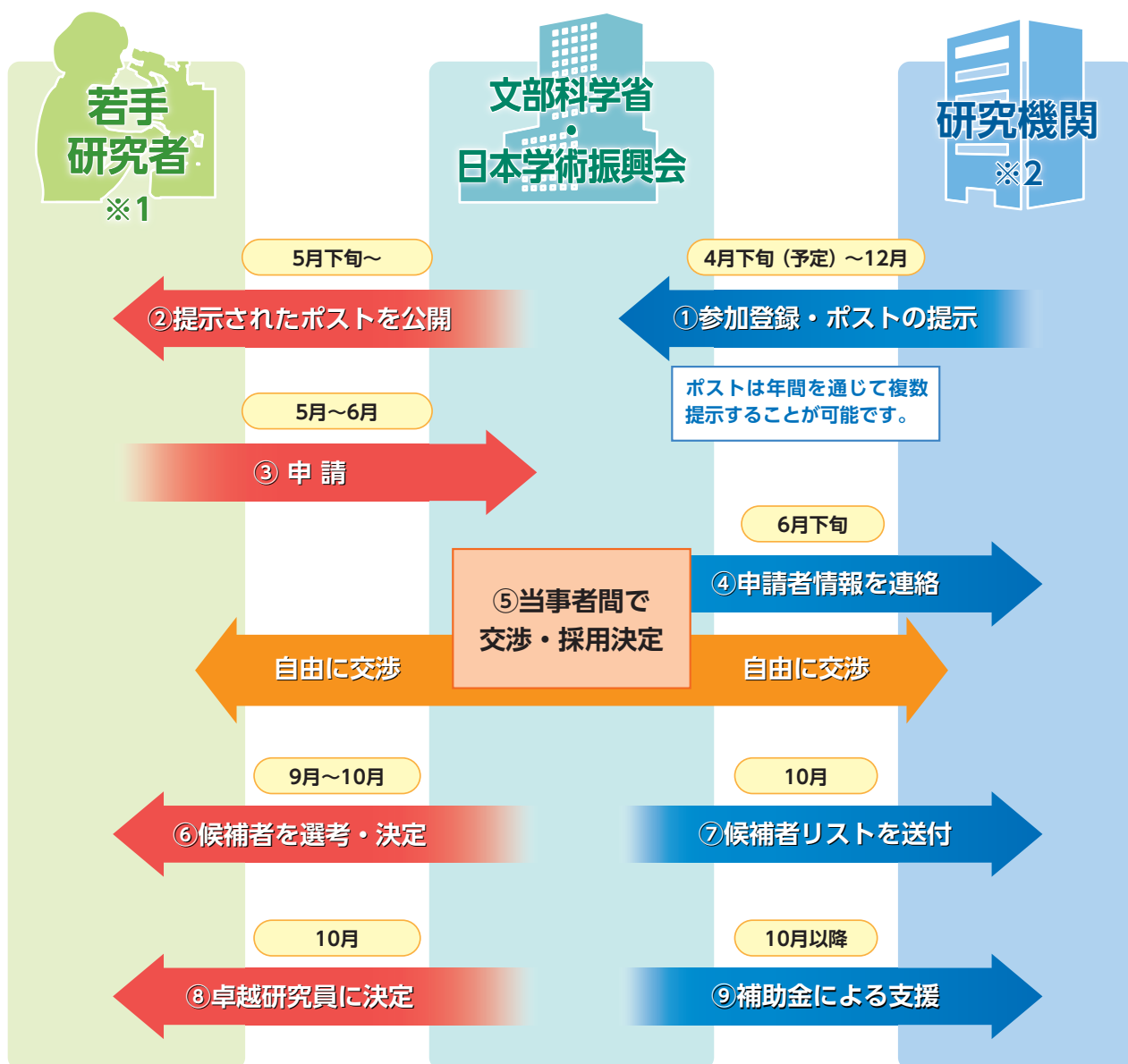
JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

## 卓越研究員事業とは

卓越研究員事業は、若手研究者が安定かつ自立して研究を推進できる環境を実現するとともに、全国の産学官の研究機関での活躍を支援する事業です。

卓越研究員事業では、優秀な博士人材の採用を希望する研究機関からポストを提示していただき、並行して若手研究者からの申請を受け付けます。次に、ポスト提示機関と若手研究者は個別に雇用について交渉（当事者間交渉）を行います。申請のあった若手研究者の中から、文部科学省が優秀な人材を「卓越研究員候補者」として選考し、ポスト提示機関と候補者との間で当事者間交渉が完了した場合に「卓越研究員」として決定します。機関が提示されたポストに「卓越研究員」が採用された場合に、補助金による支援を行う事業です。



※1 若手研究者：博士の学位を取得又は博士課程を満期退学した者で、2023年4月1日現在40歳未満の者（ただし、臨床研修を課された医学系分野に在籍した者においては43歳未満）、かつ直近5年間に研究実績のある者、これまで文部科学省から卓越研究員として決定されたことがない者

※2 対象研究機関：国公立大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国立研究開発法人、公設試験研究機関、研究開発活動を行っている日本国内に法人格を有する企業等

# 若手研究者の採用活動に役立ちます！

## ■ 若手研究者（40歳未満の博士）を対象とした事業です。

- ・ 本事業の申請者には、日本国内だけでなく海外の研究機関に所属する優秀な研究者が含まれています。
- ・ ポスト提示機関には、申請者※及び候補者リストが提供され、機関側から若手研究者にアプローチすることも可能です（※申請段階で同意があった者のみ）。
- ・ 卓越研究員候補者は、幅広い研究分野から厳正な書面審査によって選考されます。

## ■ JREC-INポータル的一般公募を活用したポスト提示ができます。

- ・ 企業がJREC-IN Portalに提示しているポストに卓越研究員候補者を採用した際、当該ポストが卓越研究員事業のポスト要件を満たすと文部科学省が判断した場合、当該ポストを卓越研究員事業により提示されたポストと同等のものとして取り扱います。  
※JREC-IN Portal <https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>  
(国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する、研究者・研究支援者・技術者等の研究人材のキャリア形成・能力開発を情報面から支援する研究人材のためのポータルサイト)

## ■ 様々な選考スケジュールに応じてポストの提示が可能です。

- ・ 研究機関の設定する選考スケジュールに応じて、令和4年12月までポスト提示期間を設けています。研究機関は、この期間に随時ポストを提示することが可能です。

## ■ 企業においては、インターンシップを経由した上で採用することも可能です。

- ・ インターンシップの実施により、採用前に研究環境等の相互理解を図ることも可能です。

## ■ ブリッジプロモーター（当事者間交渉支援機関）によるマッチング支援が受けられます。

提示したポストに、卓越研究員候補者に選考された博士人材を採用した場合、「卓越研究員」に決定し、研究機関に対して必要に応じて補助金による支援を行います。（※支援予算には限りがあるため、卓越研究員候補者を採用した場合に、補助金の支援を確約するものではありません。必ず公募要領をご確認ください。）

**支援内容**

※A、Bいずれかの支援を選択することが可能です（Bは企業のみ選択可能です）。

**[A] 研究費及び研究環境整備費**

a. 研究費（2年間）

卓越研究員の決定後1～2年度目（翌年度に雇用開始となり、補助金による支援対象となった場合は2～3年度目）に限り、卓越研究員一人当たり2年間で1,200万円を上限として支援します。

（2年間の配分は自由としますが、年間800万円を上限とします。なお、人文学及び社会科学については、2年間で800万円を上限として支援し、年間500万円を上限とします。）

b. 研究環境整備費（5年間）

卓越研究員の決定後1～5年度目に、年間200万円に在籍する卓越研究員の数を乗じた額を上限として支援します。

また、条件によって、卓越研究員の決定後1～2年度目に限り支援上限額の優遇又は追加支援を行う場合があります。

**[B] 産学連携活動費** ※企業のみ選択可能

産学連携活動費（5年間）

企業においては、大学等との共同研究に特化した産学連携活動費による支援を選択することが可能です。

卓越研究員の決定後1～5年度目に、その共同研究等に係る契約に基づき、企業が負担する産学連携活動費の1/2を上限に各年度1,000万円まで支援します。



これまでに302人の卓越研究員が全国の産学官の研究機関をフィールドとして活躍しています(2016~2020年度実績)。卓越研究員を採用した研究機関の声、および活躍している卓越研究員をご紹介します。

## 研究機関の声

### 1. 卓越研究員(候補者)を採用して良かった点、卓越研究員へ期待すること

今までにない切り口と視点で研究を始めることができ、研究が大きく進展することに繋がりました。

安定かつ自立した研究環境を生かし、長期的な視点で価値のある研究を行うことを期待します。

#### 企業

卓越研究員のレベルが高く、即戦力として分析や技術開発に活躍頂いています。特に革新的技術は事業機会増加や提案規模の向上に直結しますので、これを連続的にもたらしめてくれる得難い存在として重宝しています。

同じ課題でも様々な解決方法があり、中には技術的難易度から研究員以外が諦めていたものもあります。会社とよくコミュニケーションをすることで社会インパクトをより出せる創造力を発揮して頂くことを期待します。

#### 大学等

卓越研究員候補者には若手の優秀な研究者が多いので、卓越研究員を採用することにより、優れた若手を採用することができました。更に採用後は、教育に関する負担を軽減することについての学内的な理解を得つつ、補助金も活用することができましたので、研究により専念できる環境を整えることができました。

新しい研究分野を切り開くような独創的で優れた研究成果を上げてほしいです。そのためには、国内外の多くの研究者と交流して研究手法だけでなく研究の背景・発想を学び、また多くの実験を重ねて新事象を示唆するような事例の発見に取り組んでほしいです。

### 2. 卓越研究員事業を活用することで得たメリット、補助金の活用例

若手の優れた研究者と接する機会ができたことで、大学院生の研究活動にも良い刺激となりました。

卓越研究員の着任前に研究環境整備費を利用できるため、受入準備として各種実験装置や消耗品を購入しました。

#### 企業

本事業はテーマ選択含め柔軟性が高く、環境整備に大いに役立っています。補助金は機器購入に充て、毎年数多くIoTデバイスが世に出てくるなか、先端的なものを使うとどの程度の社会観測が出来るのかを積極的に評価できる魅力があります。

#### 大学等

卓越研究員が当該分野における先進的な研究者となってもらえる大きなメリットがあるものと考えています。卓越研究員としての研究費を本人の研究室の立ち上げに活用できたこと、そして研究環境整備費についても若手研究者のサポートに使えることは有意義であるものだと考えられます。

### 3. これから本事業への参加を検討している研究機関への推薦メッセージ、及び事業への参加や卓越研究員の受け入れに当たって工夫した点や整備した点

受入にあたり、卓越研究員の自由を尊重すること、また適度の業務を分担することで教室員としての連帯感を作ることに配慮しました。

通常の採用活動に加えて本事業を活用することで、多種多様な若手研究者からの応募が期待できます。

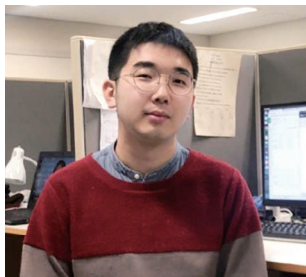
#### 企業

当社では潤沢かつ高品質なデータやクラウドサーバを整備し国内で最も充実した研究環境の1つとなれるよう務めています。良い環境が良い研究を生み、良い研究が良い事業を育むと考えています。研究機関が中長期での競争力を創出するドライバーですし、開発サイクルを短縮すると比較的即時的効果もあるとも実感しておりますので、当社は来年度も研究員受け入れ先として手を挙げたいと考えております。

#### 大学等

卓越研究員は独自に研究を展開する力を持ち、研究機関にとって新しい研究分野を切り開くことができる成熟した研究者です。また、卓越研究員の採用に伴い、研究費(卓越研究員の研究費及び研究環境整備費)が支援されるので、受入研究機関としても大きなメリットがあります。

## 卓越研究員の声



### A new horizon for geoanalytics: Leading the Small World AI project incubation at LocationMind

LocationMind Inc.,  
Senior Researcher

**Dr. Haoran Zhang** (令和2年度卓越研究員)

After my double bachelor degree in Transportation Engineering and Economics, I then pursued a double PhD degree in Transportation Engineering at China and Sociocultural Environmental Science at the University of Tokyo. My studies in industrial engineering provided me with a strong knowledge of applied mathematics, especially convex optimization theory, which is the fundamental knowledge of information science. My studies in economics and sociocultural environmental science trained me in the areas of real-world problem modeling and data mining.

After graduation, I pursued research on smart cities technology with big urban sensing data. During the research work, I deeply realized the significances of cooperation and integration on practice-oriented research and development, especially for a foreign researcher in Japan. Hence, I applied for the LEADER program for seeking more cooperation opportunities. Carrying out the idea of practice-oriented research, I finally joined LocationMind Inc. under supports of the LEADER program where can provide me a lots opportunities to touch the frontline markets to understand the real demands on the ground.

During working at LocationMind Inc., I mainly focus on incubating a Small World AI (Spatial Multimodal ALL-World Artificial Intelligence) project as the project founder and leader, which is an integrated and comprehensive data mining system that can smoothly give full play to synergies of multiple technologies, which accurately simulate real-world human mobility behaviours. This technology can help to develop smart emergency management and policy innovation. Additionally, we are trying to apply our system to more cases, for example in energy, urban planning and pandemic response fields. Testament to this technology, it won a Smart 50 Award and R&D100 Award in 2021, which recognize innovative and influential global R&D projects.



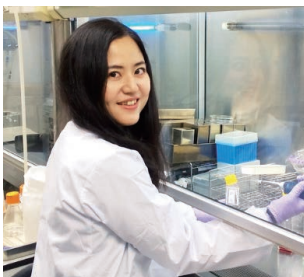
## 遍在する異質なものの中へ

京都工芸繊維大学  
情報工学・人間科学系 テニユアトラック助教  
**村上 久 さん** (令和2年度卓越研究員)

私は、生命システムがいかに外界と関わるかを広義のテーマとして研究を進めています。これまで、環境に対して一塊のように振る舞う魚の群れや、多感覚相互作用に基づくカニの空間認知に関する行動実験および計算機モデル構築を行ってきました。

私のような一見バラバラな対象を扱っている者にとって、卓越研究員制度は魅力的でした。この制度では、研究資金の自由度が高く、事前に提案した計画から自然に派生した研究も柔軟に行えます。さらに期間中、大学から研究への十分な支援が担保されます。従って独立研究者としての準備のみならず、新しいテーマに挑戦できるチャンスであるとも言えます。独立して研究するのは大変ではありますが、自分の興味ある対象へ自由にアプローチできるという利点は計り知れないものがあります。

現在、私は歩行者の群れの研究を進めています。動物や歩行者を扱っていることもあってか、身近なものを対象にしているのですね、と言われることがあります。しかし重要なことは、身近なものの中にも思いがけない、異質なものが潜んでいることに気づくことだと考えています。今後も、そうしたものに心をそばだてながら研究を進めていければと思います。



## 臨床と研究の架け橋を目指して ～バイオエンジニアリングを用いた 感染症研究への挑戦～

大阪大学  
微生物病研究所 分子原虫学分野 特任助教  
**中嶋 舞 さん** (令和2年度卓越研究員)

大学卒業後は研修医を経て感染症内科医として勤務した後、博士課程に進学しました。

博士過程では留学制度を利用し、コロラド大学にてテロメラーゼと癌に関する研究を行いました。そこで当時最先端のバイオエンジニアリングに触れたことから、ポスドクではMITに移り、最新の技術を用いた抗マラリア薬の開発を行ってきました。そして次のキャリアを考えた時、海外の機関に所属していても応募可能で、独立した自由なテーマで研究を始めるのに十分な予算を支給してくれる卓越研究員制度が自分にマッチしており、挑戦しました。

卓越研究員として選考された後は、感染症の研究が精力的に行われている大阪大学の微生物病研究所に着任しました。現在は、マラリアを対象に分子生物学やバイオエンジニアリングを駆使した研究を立ち上げた所です。また、研究費と別に環境整備費が支給されるという卓越研究員制度の特徴を活かして、ソフトとハードの両面での環境整備も順調に進んでいます。

今後は、これまで臨床と研究の場で培った経験を活かしながら、分野横断的、国際的な研究に積極的に挑戦し、マクロな視点からの基礎研究を医療の現場に繋げていきたいです。



## これまで参加した多様な研究機関 (152機関)

### 大 学

北海道大学、室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、弘前大学、岩手大学、東北大学、秋田大学、山形大学、茨城大学、筑波大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、千葉大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京農工大学、東京芸術大学、東京工業大学、東京海洋大学、お茶の水女子大学、電気通信大学、一橋大学、横浜国立大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、静岡大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学、滋賀医科大学、京都大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、神戸大学、鳥取大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、徳島大学、香川大学、高知大学、九州大学、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、宮崎大学、鹿児島大学、政策研究大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、首都大学東京、大阪市立大学、大阪府立大学、公立鳥取環境大学、福岡女子大学、学習院大学、順天堂大学、聖路加国際大学、東京慈恵会医科大学、早稲田大学、東海大学

### 大学共同利用機関

人間文化研究機構、高エネルギー加速器研究機構

### 国立研究開発法人

物質・材料研究機構、理化学研究所、宇宙航空研究開発機構、日本原子力研究開発機構、産業技術総合研究所、国際農林水産業研究センター

### 企 業

アイ・エムセップ(株)、旭化成(株)、味の素(株)、アステラス製薬(株)、飯田グループホールディングス(株)、出光興産(株)、(株)Epsilon Molecular Engineering、NUProtein(株)、大塚製薬(株)、オリシロジェノミクス(株)、(株)オンチップ・バイオテクノロジーズ、Karydo TherapeutiX(株)、キヤノン(株)、キリン(株)、Ghoonuts(株)、Craif(株)、(株)国際電気通信基礎技術研究所、コニカミノルタ(株)、(株)サイバーエージェント、(株)ジーンクエスト、(株)Jij、JXエネルギー(株)、JFEスチール(株)、塩野義製薬(株)、シミックファーマサイエンス(株)、シンクサイト(株)、シンクランド(株)、住友化学(株)、住友電気工業(株)、(株)セツロテック、ソニーグループ(株)、(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所、第一三共(株)、(株)ダン計画研究所、(株)digzyme、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、(株)夏目総合研究所、Navier(株)、(株)ニコン、(株)日産アーク、日産自動車(株)、日本製粉(株)、日本電気(株)、日本電子(株)、(株)Nextremer、パナソニック(株)、(株)ビジョンケア、(株)日立製作所、(株)ヒューマノーム研究所、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)、(株)HIROTSU バイオサイエンス、(株)富士通研究所、富士フイルム(株)、(株)プランテックス、(株)VEQTA、(株)ヘルスケアシステムズ、Mantra(株)、三菱電機(株)、(株)ユーグレナ、(株)ライトニックス、リージョナルフィッシュ(株)、リバーフィールド(株)、LocationMind(株)

### 公設試験研究機関

埼玉県環境科学国際センター

### 公益財団法人

公益財団法人がん研究会、公益財団法人東京都医学総合研究所、公益財団法人豊田都市交通研究所、公益財団法人明治安田厚生事業団

### そ の 他

長野県工科短期大学校、防衛医科大学校

※機関名は事業へ参加時点の名称

※上記一覧は平成28年度～令和3年度にポストを提示した機関

◆卓越研究員事業について詳しくは <https://www.jsps.go.jp/j-le/index.html>

#### 【お問い合わせ先】

##### <事業全般に関すること>

文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室

E-mail : takuetu@mext.go.jp TEL : 03-5253-4111 (内線4021)

##### <申請・補助金に関すること>

独立行政法人日本学術振興会 卓越研究員事業担当

E-Mail : takuken@jsps.go.jp TEL : 03-3263-3769

